



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事室において行った。



(一社) 埼玉県環境検査研究協会
(認定番号：JWWA-GLP097)

第2回理事会（6月25日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第82回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第82回総会（6月25日）

第82回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サポール」において、来賓、会員、関係者約450名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して尾崎理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省健康局長（代理：宇仁菅健康局水道課長）、総務省自治財政局長（代理：廣澤自治財政局公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：
尾崎理事長



厚生労働省健康局長祝
辞：宇仁菅健康局水道
課長



総務省自治財政局長祝
辞：廣澤自治財政局公
営企業経営室長



監査報告：豊田監事

開会式の後、定款の定めにより尾崎理事長が議長となり議事に入った。

報告事項として平成25年度支部等会計予算について、配布資料に基づく詳細な説明があつた。

続いて、第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の改選」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会運営会議委員の認定」、第3号議案「平成24年度社団法人日本水道協会会計決算の認定」について、事務局より提案資料に基づく詳細な説明があり、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第3号議案については、事務局の説明に続き監事を代表して豊田富雄氏から監査報告があつた。

休憩の後、「新水道ビジョンと水道行政の当面の課題（講師：厚生労働省健康局水道課長 宇仁菅伸介氏）」と題した特別講演を開催した。



特別講演「新水道ビジョンと水道行政の当面の課題」



講師：厚生労働省健康局水道課長
宇仁菅伸介氏

第3回理事会（6月25日）

尾崎理事が議長となり、第1号議案「代表理事の選定」が上程され、原案のとおり尾崎理事が代表理事に決定した。

続いて第2号議案「公益社団法人日本水道協会第83回総会の開催及び開催通知の送付」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第144回水道事業管理者協議会（6月26日）

はじめに座長・副座長の互選を行い、座長に浜松市の鈴木水道事業及び下水道事業管理者、副座長に松江市の渡部上下水道事業管理者を選出した。

次に、環境省の谷津地球環境審議官より「水道事業と地球環境」について、また、日本医学会の高久会長より「生き生き長生き健康のススメ～長寿社会へのアドバイス～」について、それぞれ講演があった。

続いて、メンバー都市から提案された情報交換事項「水道料金体系のあり方について」の情報交換を行った。

最後に事務局より、「地方公営企業会計制度の見直しに関する研修会の開催」、「水道耐震化推進プロジェクトにおける取組状況」について報告を行った。



第78回水道 GLP 認定委員会（6月26日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として浜松市上下水道部（認定番号：JWWA-GLP050、6月23日付）が、更新後の認定維持検査機関として福山市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP027）、(株)総合保健センター（認定番号：JWWA-GLP028）が、それぞれ審議され決定された。

第919回会誌編集委員会（6月27日）

本誌8月号、9月号、10月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第32回水道施設に関する規格専門委員会（7月2日）

水道用バルブ類8規格 [JWWA B 103（地下式消火栓）、B 121（大口径バタフライ弁）、B 122（ダクタイル鋳鉄仕切弁）、B 126（補修弁）、B 131（歯車付仕切弁）、B 135（ボール式単口消火栓）、B 137（急速空気弁）、B 138（バタフライ弁）] について、接水部材料に鉛レス銅合金を追加する主旨で、第1回目の委員会を開催し、規格改正について審議を行った。

第161回水道統計編纂専門委員会（7月5日）

水道協会雑誌8月号掲載「水道統計の経年分析（平成23年度）」について検討を行った。各委員より担当箇所の原稿修正について説明があり、ほぼ原案のとおり了承された。

第70回中小規模水道問題協議会（7月8日）

はじめに、メンバー都市改選に伴い座長・副座長の互選を行い、座長に登別市の矢吹都市整備部長、副座長に坂戸、鶴ヶ島水道企業団の三田事務局長をそれぞれ選出した。

次にメンバー都市から提案された情報交換事項①水道料金制度における基本水量の考え方、②再任用制度と職員の技術の継承、③下水道事業との組織統合、④簡易水道統合後における地方公営企業繰出金、⑤水道施設管路耐震化事業の阻害要因及び具体的方策、についてそれぞれ情報交換を行った。

続いて事務局より、「水道耐震化推進プロジェクト」及び「平成25年度地方公営企業会計制度等の見直しに関する研修会の開催、及び水道事業における地方公営企業会計制度見直しの手引きの発刊」について報告を行い、最後に水道ネットワーク通信代表・水道ジャーナリストの有村源介氏より「地方中小規模水道の事業継続の道」と題した講演を行った。

第236回衛生常設調査委員会（7月9日）

工務部長挨拶の後、水道水質管理官の挨拶、各委員の近況報告の後、厚生労働省豊住水道水質管理室室長補佐から「水質危機管理の徹底」と題して、水道における健康危機の発生状況、水質事故の再発・未然防止に向けた取り組み、自家用水道の適正管理、新水道ビジョン等、最新の水道行政の動向について説明を受けた。



この後、進行を委員長に交代し、副委員長に伊藤委員（神戸市）を互選した。続いて、来年度から亜硝酸態窒素が水質基準に追加されること等に関して必要な調査事項等を審議した。また、JWWA規格の衛生性に関する検討体制を強化するため、関連する専門委員会を整理し、水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会の設置が承認された。

第675回抄録委員会（7月10日）

本誌9月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

水道協会雑誌平成25年7月号掲載記事の訂正について

本誌平成25年7月号に掲載いたしました「会員消息」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

90頁

<正>

道北地区協議会	201016 旭川市（水道局）	管理者：水道事業管理者 木口 信正
---------	-----------------	----------------------

<誤>

道北地区協議会	201016 旭川市（水道局）	管理者：水道事業管理者 木口 伸正
---------	-----------------	----------------------